

## 式辞

ただいま、卒業証書を授与しました。皆さん、ご卒業おめでとうござい  
ます。一人一人が砧中学校での思い出と未来への希望を胸に、そ  
して、少しの寂しさを感じていることと思います。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございま  
す。心よりお祝い申し上げます。ご来賓の皆様、本日は誠にありがと  
うございます。

さて、お別れの春です。皆さんは、令和四年四月、新型コロナウイ  
ルス感染症の影響がまだ残る中で、砧中学校に入学し、三密を避ける  
新しい生活様式による学校生活が始まりました。手の消毒、マスクの  
着用やパーテーションでの給食の黙食、河口湖移動教室の一泊での  
実施など、不自由なことがたくさんありました。皆さんが二年生にな  
った五月、コロナは二類から五類になり、少しずつ以前の学校生活が  
戻ってきたのです。

皆さんはコロナに負けることなく、毎日の授業を大切にし、運動会  
や修学旅行、校外学習、学芸発表会などの行事を心から楽しみ、生徒  
会活動や部活動にも全力で取り組んで、多くの成果を上げてきまし  
た。頼りになるリーダーたちがいて、みんなでフォローし合いながら

仲良く着実に前に進んでいく、そういうすばらしい学年に成長したと思います。

私は皆さんの温かくて、礼儀正しいけれどフレンドリーな雰囲気  
が大好きでしたし、ホームページの写真を撮りに教室に行った時や  
校長室での面接の練習など、皆さんとの楽しい時間を共有できたこ  
と、あいさつや笑顔で声をかけてくれたこと、校庭から校長室に向か  
って手を振ってくれたことなど、とてもうれしかったです。

卒業していく皆さんへの花向けとして、「挑戦」という言葉を送り  
ます。「上に向かって咲き誇れる学年にしよう」が三年生の皆さんの  
スローガンでした。挑戦しない人生はつまらない、失敗から得た経験  
は皆さんの人生をきつと豊かにしてくれます。中学校までは苦手な  
ことを克服し、平均点が求められる傾向があったと思います。これか  
らの人生は、たくさん挑戦して、何度跳ね返されてもくじけずに、自  
分の好きなこと、興味のあることや得意なことにエネルギーをかけ  
て没頭しましょう。それが、二十一世紀を生きる皆さんの進む方向で  
す。

「正解」という歌を知っていますよね。「答えがある問いばかりを  
教わってきたよ。だけど、明日からは僕だけの正解をいざ探しにゆく

んだ。また逢う日まで。」あなただけの正解、それは「自分はこれが好きだ」という気持ちです。自分を信じて、それを一生懸命研いで、ぐんぐん伸ばしていきながら、豊かで幸せな人生を送ってくれることを祈っています。

結びに、卒業生の皆さん、皆さんの一度きりの人生のうちの貴重な三年間を、砧中学校で過ごしてくれてありがとうございました。これから春が来るたびに今日の日を思い出し、毎年、友や家族へ感謝の思いを届けてください。ありがとうの数だけ人は優しくなる。ごめんなさいの数だけ人は賢くなる。さよならの数だけ人は愛を知る。色々な人に支えられて生きているのだなということを大事にしてください。私は、皆さんと過ごした幸せな二年間を忘れません。明るい未来に向けて、皆さんの更なる成長と活躍を祈念し、式辞といたします。

令和七年三月十九日

砧の学び舎 世田谷区立砧中学校 校長 加藤敏久